

2007年11月 第306号



スズキ労連

2007年
11月号

静岡県浜松市南区増楽町20
電話(053)447-3079
スズキ関連労働組合連合会
発行人 加藤 幸博
編集人 光田 玄

2007 オールスズキ クリスマスフェスタ

日時 / 2007年12月16日(日)
13:00~16:00

会場 / グランドホテル浜松 2F鳳の間
チケット /

	幼稚園以下	小学生以上
前売券	100円	500円
当日券	100円	1,000円
	*金券100円付	*金券200円付

☆当日は公共交通機関をご利用のうえお越し下さい。

前売りチケット販売12月6日(木)まで
お求めは労組書記局又は労組役員まで

内容盛りだくさん!遊びに来てね!

- ☆ **ブラスバンド演奏**
庄内オーケストラハーモニー
- ☆ **マジックショー**
ブラックサタン&チビサタン&ヒメサタン
- ☆ **模擬店**
- ☆ **フード店**
- ☆ **抽選会**
- ☆ **チャリティバザー** やってます!



クリスマスフェスタ当日、チャリティバザーを開催いたします。皆さんの家庭に眠っている“日用品・おもちゃ・洋服”などで新品同様のものがございましたら是非ご提供下さい!売上金は全額、中日社会福祉事業団に寄付いたします。
受付:12月6日(木)まで
組合事務局または書記局までお願いします。



クレヨンしんちゃん

着ぐるみショー
『交通事故は、こわいゾ!』
の巻
14:40~15:10(1回のみ)



ラグーナ蒲郡 Kira Kirat City 11/10 sat → 1/20 sun



お得な割引券は労連HPからゲットしよう!
URL・パスワードは下記参照↓

スズキ労連 今後の主な活動

- [12月] 16日(日) 2007オールスズキクリスマスフェスタ (グランドホテル浜松)
- [2月] 1日(金) スズキ労連 第58回中央委員会 (スズキ労働会館)



読者プレゼント

抽選でデジタルオーディオ2台
プレゼント!!

今後、スズキ労連機関紙で取り上げてもらいたい記事・情報についてご意見・ご要望を募集いたします。単組名(支部名)・職場・氏名を明記のうえ下記アドレスまでe-mailにてご応募下さい。応募された方の中から抽選で2名の方にデジタルオーディオプレーヤーをプレゼントいたします。

mitsuda@suzuki-union.or.jp
※当選された方は機関誌内で氏名等をご紹介させていただきます。
応募締切:12月14日(金)



Qoolqee X
デジタルオーディオプレーヤー (256MB)
振動と水に強い、スポーツ志向のデジタルプレイヤー。重さわずか28gでクリップ付き。
○MP3/WMA/ASF/OGGファイルに対応
○リチウムポリマー電池内蔵 ○FMラジオも聞ける。

[スズキ労連] 機関誌に対するご意見・ご要望が ございましたら編集部までお気軽にお寄せ下さい。

編集部 〒432-8062 浜松市南区増楽町20 (スズキ労働会館内)
TEL.053-447-3079 FAX.053-440-2838
e-mail: mitsuda@suzuki-union.or.jp

◇スズキ労連ホームページ◇ <http://saw.gogo.tc/>
*スズキ労連活動状況(労連ブログ)・スズキ労連機関紙
新閲覧パスワード…saw2007

【編集後記】もうじきクリスマス! かといって何かある訳でもなく…。正月休みの方が楽しみな34歳です。(次長2)

「アクアとと・岐阜」・「ラグーナ蒲郡」割引券は
労連HP Topページよりプリントアウトできます!
パスワード:saw2007



《スズキ労連 2007年労働諸条件改善の取り組み》

「労働諸条件・基本プラン」に沿って、ミニマム基準未達一掃に向けた取り組みを展開する。各組合は要求書または要望書を提出し、小委員会等の形態で取り組みを進め、回答については文書にて受け取る。

◎基本プラン

- 短時間勤務制度継続取り組み
- ・育児・介護支援を目的とした短時間勤務の制度化 (育児対象3歳以下、賃金は時間比例分以下の控除)

◎基本プラン以外

- 1) 労働協約・労使協定の締結・見直しを実施。
スズキ労連の統一取り組み項目として、協約・協定の再点検実施。各単組は締結の実態を確認し、必要性に応じ、確実に更新、締結をしていく。また、新加盟組合は、「早急に協約・協定を整備する」事に取り組む。
・労連事務局中心に標準化を図る。
- 2) 労働時間短縮に向けた諸施策の取り組み
スズキ労連の統一取り組み項目として、総労働時間短縮について取り組む。各単組はゆとりある豊かな生活の実現、また、健康管理、コンプライアンスの観点からも総労働時間短縮に向け取り組む。
・所定1952h未達組合は達成に向け取り組む。
・有給休暇の取得増の取り組み。
- 3) 裁判員制度施行に向けた取り組み
・国の制度である裁判員に組合員が該当した際に、不利益な扱いをしないことを確認する。
・参加しやすい環境整備 (時間等の個人負担の軽減)
- 4) 時間管理に関する確認 (通年取り組み含む)
時間管理の適正化について取り組む。
- 5) 60歳以降の就労について (通年取り組み含む)
協定の運用について、確認し課題については労使協議をする。
- 6) 「営業スタッフの魅力ある働き方の実現」【販売部門:重点項目】
完全時間管理の要求

一口メモ「短時間勤務制度」

育児・介護休業法により、企業は、3歳未満の子を養育する労働者や家族を介護している労働者(介護休業と通算して93日まで)に勤務時間の短縮等の措置を講じることを義務付けられています。また3歳から小学校入学前の子を育てる労働者や家族の介護が93日以上に及ぶ労働者に対しても、勤務時間の短縮等の措置を講じることが、企業の努力義務として規定されています。こうした法の要請を意識して短時間勤務制度を導入している企業も少なくありません。

一口メモ「裁判員制度」

刑事裁判に国民を参加させることで司法に対する国民の信頼を増進するとの目的で法制化された制度であります。従来になかった「抽選で本人の意思に関わりなく裁判員候補者を呼び出し、裁判員を選任する」という性質上、問題点が指摘されています。裁判員の職務に就いている間の休暇及び給与の扱いや運用については個別の企業に判断がゆだねられていますが、ある程度の規模以上の企業においては、例えばトヨタや東京電力が裁判員制度専用の有給休暇制度を導入するなど、休暇制度を整える動きが広がっています。

《スズキ労連取り組み日程》

<要求書・要望書提出>	11月上旬
<取り組み時期>	11月上旬~12月末
<回答引き出し>	12月末

**スズキ労連
2007年労働諸条件改善
取り組み方針**
(基本プラン：表面参照)

**スズキ労連方針に基づき
部門別部会での協議**

《 製造・輸送部門 》

スズキ労連製造・輸送部門は、「2007年労働諸条件改善の取り組み」として下記の項目に取り組む。

基本：自動車総連基準の「労働諸条件・基本プラン」に沿って、ミニマム基準未達一掃に向けた取り組みを展開する。各組合は要求書または要望書を提出し、小委員会等の形態で取り組みを進め、回答については文書にて受け取る。

1. 取り組み項目
 - ①要求項目
 - 1) 短時間勤務制度の導入
 - ・育児・介護に関わる者への仕事と家庭の両立支援の更なる推進を図るべく、短時間勤務制度を導入する。
 - 対象者：子を養育する者、家族介護を行う者。
 - 内 容：あらかじめ短時間勤務を申し出た場合、所定労働時間を短縮した勤務が出来る。
 - 2) 労働時間短縮に向けた諸施策の展開、スタート12に基づく取り組みの実施。スズキ労連の統一取り組み項目として、総労働時間短縮について取り組む。各単組はゆとりある豊かな生活の実現、また、健康管理、コンプライアンスの観点からも総労働時間短縮に向け取り組む。
 - ・所定1952h未達組合は2日（16h）の時間短縮を要求する。
 - ・計画有給休暇の取得増の取り組みを行う。
 - ②要望項目
 - 1) 裁判員制度試行に向けた対応について
 - ・国の制度である裁判員に組合員が該当した際に、不利益な扱いをしないことを確認する。
 - 2) 時間管理に関する確認（通年取り組み含む）
 - ・時間管理の適正化について取り組む。
 - 3) 60歳以降の就労について（通年取り組み含む）
 - ・協定の運用について、確認し課題については労使協議をする。
 - ③その他
 - ①・②に含まれない各単組の環境改善項目については、各単組にて積極的に取り組む。

部門別方針決定!

- 製造・輸送部門
短時間勤務制度の導入へ
所定1952hに向けた
時短の要求へ
- 販売部門
家庭の日（ノー残業デー）の
定着へ
休日104日に向けた取り組みへ

販売系の組織拡大が続く中、いよいよスズキ労連「労働諸条件改善の取り組み」も部門ごとに方針を打ち立て、取り組みを行なうこととなりました。部門ごとの課題を明確に打ち出すことで、各単組の要求・要望書に具体性を持たせ、労連との連携をアピールすることができます。製造・輸送部門では所定1952h未達組合の時短、販売部門では、「家庭の日」導入に向けた取り組みが展開されます。

《 販売部門 》

スズキ労連加盟の各販売系労働組合は販売特有の課題を鑑み、スズキ労連方針に基づいた下記共通取り組みを各組合の状況に合わせ要求要望とし「2007年労働諸条件改善の取り組み」を進める。

基本：自動車総連の「労働諸条件・基本プラン」に沿って、ミニマム基準未達一掃に向けた取り組みを展開する。各組合は要求書または要望書を提出し、小委員会形式で取り組みを進め、回答については文書にて受け取る。また、自動車総連の販売部門重点項目「営業スタッフの魅力ある働き方の実現」へ向けての取り組みについては、スズキ労連販売部門として時間管理の環境整備に向けた前段階として働き方のルールの再徹底をはかることにしていく。

1. 取り組み項目
 - ①要求項目
 - 1) スズキ労連の統一取り組み項目として、総労働時間短縮について取り組む。各単組はゆとりある豊かな生活の実現、また、健康管理、コンプライアンスの観点からも総労働時間短縮に向け取り組む。
 - ・休日設定104日未達組合は達成に向け取り組む。
 - ・家庭の日（ノー残業デー）の実施。未取り組み組合・支部→月1回～2回の家庭の日の設定。
 - 既取り組み組合・支部→継続、回数増。
 - *家庭の日（ノー残業デー…家族との団楽をはかる日）
 - ②要望項目
 - 1) 裁判員制度試行に向けた対応について
 - ・国の制度である裁判員に組合員が該当した際に、不利益な扱いをしないことを確認する。
 - 2) 60歳以降の就労について（通年取り組み含む）
 - ・協定の運用について、確認し課題については労使協議をする。
 - 3) 協約・労使協定の締結・見直しを実施
 - ・スズキ労連の統一取り組み項目として、協約・協定の再点検実施。各単組は締結の実態を確認し、必要性に応じ、確実に更新、締結していく。また、新加盟組合は、「早急に協約・協定を整備する」事に取り組む。労連事務局を中心に標準化を図る。
 - ③その他
 - ①・②に含まれない各単組の環境改善項目については、各単組にて積極的に取り組む。

スズキ労連労使会議 開催
—「スズキグループの秋の取り組み」を前に労使の共通認識を深める—



組合側から26名が参加 労連活動の紹介をする古川事務局長。



会社側から21名が参加

スズキ労連は毎年、加盟単組の委員長と会社代表が参加し「スズキ労連労使会議」を開催しています。労使会議ではスズキグループの労使の信頼関係を深めるとともにスズキグループ全体の会社方針の確認、労使での課題認識の共有化、労働条件向上、会社の業績向上について意見交換を行なっています。

10月3日（水）に開催された労使会議では、ワークライフバランス、健康管理面からの総労働時間短縮に向けた労使の見解について意見交換を行いました。また会社側からの相良新工場の稼働についての説明を受けるとともに、55歳以上の技術者の処遇、60歳以降の雇用について協議をしました。また、スズキ(株)国内営業本部長、生産本部長からスズキグループの方針についての説明があり、国内市場の動向、海外展開についての情報交換による課題の共有化を図りました。話し合いの中では、国内・海外とも日々めまぐるしく情勢が変わる中で、中期5カ年計画達成に向け、いままですら以上労使のベクトルを合わせる必要性が確認されました。

【2007スズキ労連労使会議】

- ◇日 時 2007年10月3日（水）
- ◇場 所 グランドホテル浜松 スズキゲストルーム
- ◇出席者 組合側26名 会社側21名
- ◇内 容
 - 1) スズキ労連 加藤会長挨拶
 - 2) スズキ株式会社 松永和己 管理部門（人事・法務）常務役員挨拶
 - 3) 自己紹介
 - 4) スズキ労連の活動紹介 古川事務局長
 - 5) スズキグループ方針説明
 - ①講演「国内市場の状況と今後の国内販売戦略について」
田村スズキ(株)国内営業本部長
 - ②講演「今後の国内生産と海外生産について」
水口スズキ(株)生産本部長
 - 6) 質疑応答
 - ①総労働時間短縮について
 - ②55歳以上の技術者の雇用について
 - ③車両の防錆対策について



挨拶する松永スズキ(株)常務役員



田村スズキ(株)国内営業本部長



水口スズキ(株)生産本部長



**スズキ労連組織内議員
田口章は考える。**

「おもちゃの箱もなまき世をおもちゃへ」
「今より早くときはなない」がモットーです。
浜松市議会議員 田口章

「地方自治体」

ある方から質問をいただきました。「浜松市の印鑑証明手数料は高いんじゃないか?」「政令市になったからか?」最近、女房に頼んでばかりで、自分で住民票や印鑑証明を取ってなかったの、実は、手数料がいくらかかるか知りませんでした（「そんなことくらい知っておけよ!」と怒られそうですな…反省）。現在、新浜松市は350円となっています。合併した旧12市町村でいえば、一番多かったところでは200円でしたから、「政令市になったから高くなったのか…」と思われる方もいらっしゃるかもしれません。ちなみにいくつかの市を調べたところ、札幌市は350円でしたが、横浜市や名古屋市は300円、豊橋市は200円、豊田市は150円でした。一方、財政再建団体となった夕張市では500円となっています。これは一例ではありますが、地域格差の一端でもありますね。やはり財政が豊かであれば、それだけの市民サービスが提供できますし、逆もあり得るということですよ。ある意味、これが「地方自治」ではないでしょうか。

他にもあります。例えば「軽自動車税」。軽自動車税は「地方税」で、実は地方独自で税額を決定できるのです。軽乗用車の「標準税率」は、年間7200円なのですが、「制限税率」と言って、地方自治体で暫定的に高い税率（最高1.5倍）を課すこともできます。「まさか、そんなところナイだろ〜」と思われるでしょうが、今、これを導入しているのが夕張市です。ちなみに夕張市では、市民税も「標準税率」よりも高くなっています。さて、それでは逆に、「標準税率」よりも地方税を低く設定している自治体はあるのでしょうか?（ご存じの方、いらっしゃいますか?）

地方分権が進む中、真の地方の自治、自立が求められています。浜松も、「横並び」ではなく、独自性のある自治権の確立をめざしていかなくてはなりません。やすとも市長は、まず、子どもの医療費助成で独自性を打ち出しました。私はこの姿勢を高く評価したいと思います。では、あとは何をしていくべきか…、1年生の私では、まだまだ勉強不足ですが、今後、負担とサービスのあり方についてもしっかり考えていきたいと思っております。

数年後には、「市民税を下げる!」なんてマニフェストを掲げる市長候補者が現れるかもしれませんね…。

《田口ブログ 10月15日記事より抜粋》

田口章の「創ろう! 元気な浜松」
http://taguchi-hamamatsu.cocolog-nifty.com/blog/

労連HPからもアクセスできます。

浜松市政から身近な政治問題、プライベート(?)まで田口が気にしていること、考えていることがよ〜く分かります。コメントも書き込めますので、皆さんのご意見をどしどしお寄せ下さい!



スズキ労連の方針に基づき単組別方針決定⇒要求・要望書提出